



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社 NEW ART  
 コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 白石 幸生  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松橋 英一  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3567-8098

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,621	2.2	252	34.6	236	39.1	95	67.9
29年3月期第1四半期	3,702	38.8	386	105.0	387	114.4	297	110.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 95百万円 (68.1%) 29年3月期第1四半期 299百万円 (112.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.29	
29年3月期第1四半期	0.90	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	13,226	6,663	50.4
29年3月期	13,304	6,981	52.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 6,663百万円 29年3月期 6,981百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.30	0.30

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,100	0.0	600	38.0	600	37.7	350	54.1	1.05
通期	14,500	7.0	1,300	19.0	1,300	17.7	800	26.9	2.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	332,527,514 株	29年3月期	332,527,514 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	5,947,323 株	29年3月期	109,710 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	332,176,282 株	29年3月期1Q	332,418,813 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、[添付資料]P 4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。個人消費は、緩やかな持ち直しの動きで推移しました。

このような経済状況のもと、当社は、当連結会計年度より、新中期経営計画「Success Road 2020」をスタートし、中長期における事業規模の拡大及び収益力の向上に向けて、国内既存事業の更なる拡大、海外展開の推進、新規事業の育成、利益を生み出す筋肉質な組織の構築を目指し、事業活動を推進しました。

また、当社は、平成29年10月1日に、持株会社体制への移行を予定しています。持株会社体制に移行することで、各事業の責任体制の明確化を図り、事業間のシナジー効果の最大化、機動的な組織再編、戦略的な事業提携、コーポレートガバナンスの強化等、グループ各社が事業環境の変化に柔軟に対応できる体制を構築することにより、更なる事業の成長及び企業価値の最大化を目指していきます。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上面では、主力のジュエリー事業が引き続き好調に推移したものの、アート事業の絵画取引が同事業における新規事業の立ち上げ準備のために抑制されたことにより、売上高は36億21百万円（前年同期比2.2%減）となりました。利益面では、アート事業において絵画取引が抑制されたこと、ジュエリー事業の海外展開において売上に先行して投資費用が発生したこと、その他事業において新たに連結対象となった子会社が事業再生・育成フェーズであることなどにより、営業利益は2億52百万円（前年同期比34.6%減）、経常利益は2億36百万円（前年同期比39.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は95百万円（前年同期比67.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当社は、平成29年10月1日に持株会社体制への移行を予定しており、当第1四半期連結累計期間より、グループ会社の管理体制を見直し、経営管理方針を変更しました。また、株式会社ニューアート・クレイジー、株式会社ニューアート・ウェディング、HONG KONG NEW ART LIMITED 及び台湾新美股份有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めています。これにより、報告セグメントを、従来の「ジュエリー・アート事業」から「ジュエリー事業」及び「アート事業」の2区分に変更するとともに、「その他事業」を新たに追加し、「ジュエリー事業」「エステ事業」「アート事業」「その他事業」の4つのセグメントに変更しました。以下の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

#### ①ジュエリー事業

当第1四半期連結累計期間におけるジュエリー事業の売上高は23億5百万円（前年同期比14.3%増）、セグメント利益は2億79百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

国内のジュエリー事業につきましては、集客強化に努めたことで来店客数が増加し、さらに営業組織力の強化により成約率が向上した結果、前年同期と比べ売上高、利益とも増加しました。海外のジュエリー事業につきましては、売上に先行して投資費用が発生しました。これにより、ジュエリー事業につきましては、前年同期と比べ増収減益となりました。

平成29年5月に、銀座ダイヤモンドシライシ及びエクセルコ ダイヤモンドの2つのブランドの統合店舗を熊本県熊本市に、平成29年6月に、当社グループ最大規模の店舗を台湾・台北市に新設しました。平成29年6月末における銀座ダイヤモンドシライシの国内店舗は38店舗、海外店舗は2店舗、エクセルコ ダイヤモンドの国内店舗は20店舗、海外店舗は1店舗となりました。

また、平成29年9月に、銀座ダイヤモンドシライシ及びエクセルコ ダイヤモンドの統合店舗を、新潟県新潟市及び長崎県長崎市に新設予定です。

#### ②エステ事業

当第1四半期連結累計期間におけるエステ事業の売上高は8億19百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益は12百万円（前年同期比66.0%減）となりました。

エステ事業につきましては、中長期的な売上拡大及び利益率の改善を図るため、今期は構造改革を推進しています。これにより、前年同期と比べ減収減益となりました。平成29年6月末における国内店舗は26店舗、海外店舗は2店舗となりました。

#### ③アート事業

当第1四半期連結累計期間におけるアート事業の売上高は3億87百万円（前年同期比53.7%減）、セグメント利益は11百万円（前年同期比80.4%減）となりました。

アート事業につきましては、新規事業の立ち上げ準備を進めています。これにより、前年同期と比べ絵画取引が減少し、減収減益となりました。

④その他事業

当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は1億8百万円、セグメント損失は32百万円となりました。

その他事業につきましては、当第1四半期連結会計期間に、非連結子会社の株式会社ニューアート・クレイジー及び株式会社ニューアート・ウェディングの重要性が増したため連結子会社化し、それぞれスポーツ関連事業、ウェディング事業を推進しています。株式会社ニューアート・クレイジー及び株式会社ニューアート・ウェディングは、事業改革により早期収益化を目指しています。

(注) 上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

当社グループのセグメント別売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) (千円)	前年同期比(%)	構成比 (%)
ジュエリー事業	ブライダル関連商品の販売、サービス	2,305,472	14.3	63.7
エステ事業	エステティックサロンの運営、化粧品等の販売	819,303	△3.5	22.6
アート事業	美術品等の販売	387,750	△53.7	10.7
その他事業	ゴルフ用品の販売、結婚式場・レストランの運営	108,739	—	3.0
合 計		3,621,265	△2.2	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。  
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 3. 「ジュエリー事業」は、ブライダルジュエリー販売、ウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスおよびファッションジュエリーの売上となっております。  
 4. 「エステ事業」は、エステ施術サービス、化粧品、栄養食品および美容機器販売の売上となっております。  
 5. 「アート事業」は、美術品等の販売の売上となっております。  
 6. 「その他事業」は、ゴルフクラブ用カーボンシャフト、ゴルフ用品の販売および結婚式場・レストランの運営による売上となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比2億60百万円増加(前連結会計年度末比2.8%増)し、95億74百万円となりました。主な要因として、新規出店・関連会社への出資および仕入を強化したことにより現金及び預金は7億79百万円減少しました。その反面、受取手形及び売掛金は4億61百万円増加し、商品及び製品は5億14百万円増加となりました。

固定資産は、前連結会計年度末比3億38百万円減少(同8.5%減)し、36億52百万円となりました。主な要因としては、連結範囲の変更に伴う関係会社長期貸付金5億2百万円減少などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比78百万円減少(同0.6%減)し、132億26百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比2億56百万円増加(前連結会計年度末比4.8%増)し、56億34百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の増加2億49百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比17百万円減少(同1.8%減)し、9億28百万円となりました。主な要因としては、長期借入金の減少16百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比2億39百万円増加(同3.8%増)し、65億63百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比3億17百万円減少(前連結会計年度末比4.6%減)し、66億63百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加95百万円、連結範囲の変更に伴う利益剰余金の減少2億33百万円、自己株式の増加に伴う減少1億79百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は50.4%(前連結会計年度末は52.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日公表の業績予想から変更はありません。なお今後、業績予想について変更がある場合は速やかに公表いたします。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,606,248	1,826,844
受取手形及び売掛金	1,251,798	1,713,397
商品及び製品	5,231,089	5,745,496
仕掛品	—	56,679
原材料及び貯蔵品	102,016	113,683
前払費用	137,001	139,978
繰延税金資産	90,616	17,461
その他	27,466	94,473
貸倒引当金	△132,433	△133,780
流動資産合計	9,313,804	9,574,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	754,361	761,903
機械及び装置(純額)	—	8,952
車両運搬具(純額)	84	494
工具、器具及び備品(純額)	837,284	850,650
建設仮勘定	—	116,301
有形固定資産合計	1,591,730	1,738,303
無形固定資産		
のれん	366,065	398,601
その他	16,594	31,604
無形固定資産合計	382,659	430,206
投資その他の資産		
投資有価証券	66,430	48,674
長期貸付金	3,000	3,000
関係会社長期貸付金	502,140	—
敷金及び保証金	1,039,691	1,096,018
繰延税金資産	7,715	7,655
その他	464,763	395,524
貸倒引当金	△66,985	△67,029
投資その他の資産合計	2,016,755	1,483,842
固定資産合計	3,991,145	3,652,351
資産合計	13,304,949	13,226,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	162,543	188,740
短期借入金	2,965,000	3,214,000
1年内返済予定の長期借入金	333,784	367,104
未払金及び未払費用	711,956	664,495
未払法人税等	192,844	94,479
前受金	961,647	978,994
その他	50,336	126,689
流動負債合計	5,378,112	5,634,502
固定負債		
長期借入金	750,346	733,580
退職給付に係る負債	194,062	194,082
その他	1,327	959
固定負債合計	945,735	928,621
負債合計	6,323,847	6,563,124
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,152	2,376,153
利益剰余金	1,993,111	1,855,331
自己株式	△2,074	△182,004
株主資本合計	6,984,441	6,666,732
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,339	△3,272
その他の包括利益累計額合計	△3,339	△3,272
純資産合計	6,981,101	6,663,460
負債純資産合計	13,304,949	13,226,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,702,914	3,621,265
売上原価	1,843,237	1,487,863
売上総利益	1,859,676	2,133,402
販売費及び一般管理費	1,473,215	1,880,827
営業利益	386,460	252,575
営業外収益		
受取利息	1	140
為替差益	6,949	—
その他	649	368
営業外収益合計	7,600	508
営業外費用		
支払利息	6,150	9,049
為替差損	—	6,197
その他	—	1,545
営業外費用合計	6,150	16,791
経常利益	387,910	236,291
特別損失		
減損損失	9,685	—
特別損失合計	9,685	—
税金等調整前四半期純利益	378,224	236,291
法人税、住民税及び事業税	63,087	67,494
法人税等調整額	17,495	73,215
法人税等合計	80,583	140,709
四半期純利益	297,640	95,581
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,640	95,581

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	297,640	95,581
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,315	67
その他の包括利益合計	2,315	67
四半期包括利益	299,955	95,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	299,955	95,649

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月26日及び平成29年6月23日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式取得を行いました。これにより、当第1四半期連結会計期間において、自己株式が179,925千円増加しております。

また、当第1四半期連結会計期間において株式会社ニューアート・クレイジー、株式会社ニューアート・ウェディング、HONG KONG NEW ART LIMITED、台湾新美股份有限公司を連結範囲に含めております。これにより、当第1四半期連結会計期間において連結範囲の変更に伴い、期首の利益剰余金が233,361千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー 事業	エステ事業	アート事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,016,440	848,972	837,500	—	3,702,914	—	3,702,914
セグメント間の内部売上高又は振替高	101	—	—	—	101	△101	—
計	2,016,542	848,972	837,500	—	3,703,015	△101	3,702,914
セグメント利益	302,787	36,349	56,266	—	395,402	△8,942	386,460

(注) 1. セグメント利益の調整額8,942千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ジュエリー事業」において、移転が決定した店舗資産及びその原状回復に係る費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、9,685千円でありませ

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー 事業	エステ事業	アート事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,305,472	819,303	387,750	108,739	3,621,265	—	3,621,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	—	—	251	341	△341	—
計	2,305,563	819,303	387,750	108,990	3,621,607	△341	3,621,265
セグメント利益又は損失(△)	279,515	12,349	11,045	△32,450	270,460	△17,885	252,575

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額17,885千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成29年10月1日に持株会社制への移行を予定しており、当第1四半期連結累計期間より、グループ会社の管理体制を見直し、経営管理方針を変更しました。これに伴い、従来の「ジュエリー・アート事業」において美術品等の販売業務を分離し、「ジュエリー事業」および「アート事業」に表記を変更しています。

また、当第1四半期連結累計期間より、「ジュエリー事業」において台湾新美股份有限公司、「エステ事業」においてHONG KONG NEW ART LIMITED、そして新たに追加した「その他事業」において株式会社ニューアート・クレイジーおよび株式会社ニューアート・ウェディングを重要性が増したため連結の範囲に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、「その他事業」において、株式会社ニューアート・クレイジーを重要性が増したため連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は39,771千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。